

2018 JCHO群馬中央病院 初期臨床研修プログラム

- ① JCHO群馬中央病院について
- ② 研修プログラムについて
- ③ 待遇等について
- ④ 募集概要

JCHO群馬中央病院って？



前橋市マスコットキャラクター
ころとん

正確には、
『独立行政法人地域医療機能
Japan Community Health care
推進機構群馬中央病院』
Organization と言います。

JCHO群馬中央病院

昭和25年4月1日

平成26年4月1日

社会保険病院群馬中央総合病院として開設

独立行政法人地域医療機能推進機構に移行、病院名を「群馬中央病院」に改称

診療科の紹介（一部抜粋）

内科

（豊富な症例を経験可）

前橋市中心に位置しており、アクセスの良さから他の医療圏からの患者流入も多く、豊富な症例を経験することが出来ます。

内科系疾患は、ほぼカバーしていますので、コモンな内科疾患を幅広く、自分たちでマネジメントできます。

入院患者疾患別内訳

循環器：33%（カテ件数：282）

呼吸器：29% 糖尿病：9%

神経内科：6% 消化器：3%

消化器内科

（年間12,000件を超える内視鏡検査）

急性腹症、吐血など急性疾患から炎症性腸疾患、肝疾患、消化器がんなどの診療を行っています。

消化器中心に研修を希望する方は内視鏡検査、エコー、生検技術等の習得が可能です。

外科

（消化器外科全領域）

手術数は578件（がん手術は204例、胃がん手術の60%、大腸がん手術の35%は腹腔鏡下で実施）

縫合・切開等の基本的な外科手技や中心静脈確保から重症患者の管理まで経験できます。

整形外科

（膝・脊椎の手術350件以上）

手術総数は873件

四肢及び脊椎の外傷、変形性疾患など

小児科

（新生児から小児まで）

専門病床60床（NICU機能16床）

入院患者1600件以上

紹介患者1600件以上

小児入院は感染症が中心、新生児の人工呼吸管理も多くあります。

麻酔科

（できる研修医に仕上げます！）

気道確保、脊髄くも膜下穿刺、静脈ライン確保から呼吸管理、循環管理、疼痛管理、などを豊富に経験できることが特徴です。

麻酔科管理手術1,944件

産婦人科

（分娩数749件、手術数592例）

重篤な合併症を有する妊婦さんなどを24時間体制で受入れ、小児科と連携し母体、胎児、新生児の集中医療を実施
リプロダクションセンター設置
産科婦人科内視鏡学会認定施設

放射線科

（総読影量約100件/日）

1日の外来数は650人、入院数は234人なので院内の画像診断の大部分に関わっていると言えます。
優れた放射線科医を目指すなら、当院の初期研修からスタートし、後期研修に移行することをお勧めします。



JCHOロゴ

※実績、件数等は平成27年度より

JCHO群馬中央病院 初期臨床研修プログラムについて

当院の研修プログラムは選択期間が14か月と長く、自由度の高いプログラムとなっています。

診療体制が充実しており、20科目のうち14科目は自院で研修することが可能なため、急に研修内容を変更したい場合でも柔軟に対応することができるからです。もちろん希望に応じて協力施設で研修することも可能です。2年間の研修を有意義に過ごすことができるよう、よりよい環境になるよう努めています。

また、実際の現場では大規模医療センターと異なり、少人数制なので積極的に治療に携わってもらう機会が多く、様々な技術習得が可能です。

- ・当院で研修可能な研修プログラム（14）

内科、循環器科、消化器内科、糖尿病、神経内科、外科、整形外科、
病理診断科、眼科、放射線科、麻酔科、小児科、産婦人科、救急部門

- ・協力病院等で研修可能なプログラム（6）

（群馬大学） 皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科

（JCHO東京城東病院） 総合内科

（赤城病院） 精神科、地域医療研修

※赤字は平成30年度より



麻酔科研修



小児科研修

研修協力病院及び研修協力施設

平成30年度プログラムよりJCHO東京城東病院が追加になりました。



JCHO東京城東病院

(内科・総合内科)



伊藤内科医院 (地域医療研修)



すがの内科医院 (地域医療研修)



独立行政法人地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization

群馬中央病院



群馬大学医学部附属病院

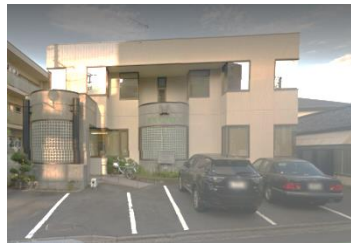
(皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)



赤城病院 (精神科)



ほんま小児科 (地域医療研修)



中村外科医院 (地域医療研修)



ベル小児科クリニック



しのはら小児科 (地域医療研修)



たき医院 (地域医療研修)

研修プログラム・ローテーションの概要①

必修科目

① 内科

当院が前橋市中心に位置しているため、アクセスの良さから他の医療圏からの患者流入も多く、豊富な症例を経験することが出来ます。

1年次に6カ月研修を行います。2カ月を1タームとして内科Ⅰ（循環器）、内科Ⅱ（消化器内科）、内科Ⅲ（神経内科・糖尿病）、内科Ⅳ（総合内科）の4タームの中から3タームをローテーションします。

内科系疾患は、ほぼカバーしていますので、コモンな内科疾患を幅広く、自分たちでマネジメントできます。

② 救急

救急搬送される患者、開業医からの紹介で緊急対応を要する患者、重篤な合併症をもつ妊産婦などに対して適切な対応をするために、1年次に2カ月、2年次に1カ月の計3カ月研修します。

1年次の初めの1カ月は麻酔科で救急救命の初期スキルを習得し、残りの2カ月は外科を中心に院内各科の頻度の高い救急疾患の初期治療から入院まで診療に当たります。

救急搬送は年間1600件以上（H28実績）です。

③ 地域

患者さん（家族）が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療（在宅医療を含む）について実践し、病院との連携について理解することを目的として2年次に研修協力施設（開業医）で1カ月間研修します。



内科研修



外科研修

研修プログラム・ローテーションの概要②

選択必修科目

外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科のうち2つの診療科については、必ず研修を行います。精神科については研修協力病院である赤城病院で研修を行います。期間は各々最短1ヶ月単位で研修可能です。また、選択研修期間を利用して、さらに長期に研修することも可能です。

選択研修科目（12）

希望の研修科を選択し、最短1ヶ月単位で研修が可能です。なお、一部の科目については協力施設で研修となります。

循環器内科、消化器内科、糖尿病、神経内科、
総合内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、
眼科、放射線科、麻酔科、病理診断科、皮膚科、
泌尿器科、**耳鼻咽喉科**



群馬大学医学部附属病院



赤城病院（精神科）



独立行政法人地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization
群馬中央病院



JCHO東京城東病院
（内科・総合内科）



すがの内科医院（地域医療研修）



（地域医療研修）



中村外科医院（地域医療研修）



ベル小児科クリニック



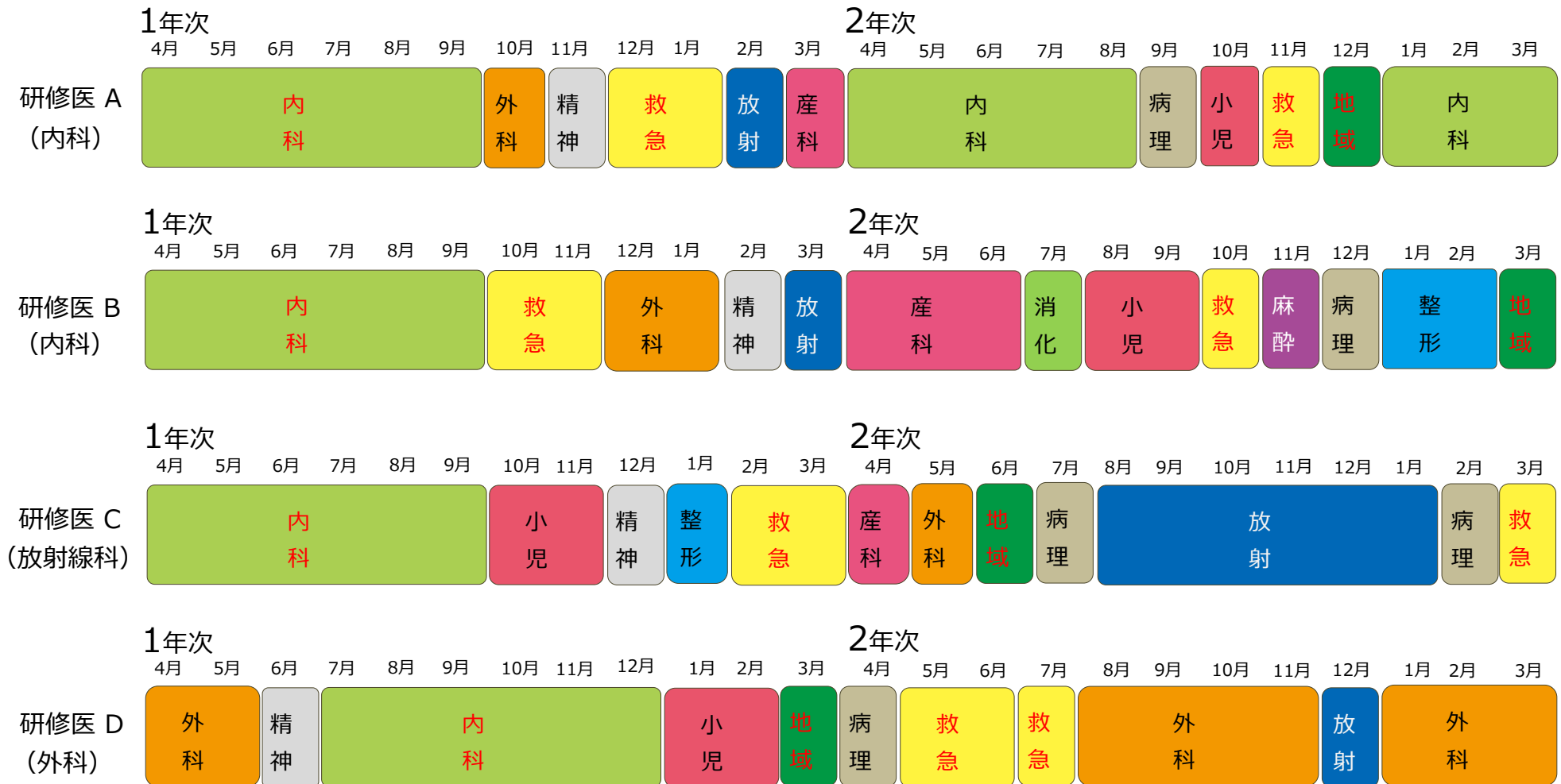
しのはら小児科（地域医療研修）



たき医院（地域医療研修）

ローテーションについて（参考）

実際に当院のプログラムで研修したローテーション表



平成30年度研修プログラム変更内容

① 内科研修の充実

総合内科を追加しました。

研修先はJCHO東京城東病院となります。

JCHO東京城東病院って

JCHOの取り組みの一つに総合診療医の育成が掲げられています。

具体的には、日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病等について適切な対応を行い、かつ、他職種と連携して多様なサービスを包括的に行う総合的な診療能力を有する医師の育成を行います。

東京城東病院総合内科は、JCHOの総合診療におけるフラッグシップモデルの一つです。

外部講師(徳田安春先生、山中克郎先生、青木眞先生など)の招聘も積極的に行い、教育活動も充実しています。



JCHO東京城東病院



② 選択科目の追加

耳鼻咽喉科を追加しました。

研修先は群馬大学附属病院となります。

東京へ進出

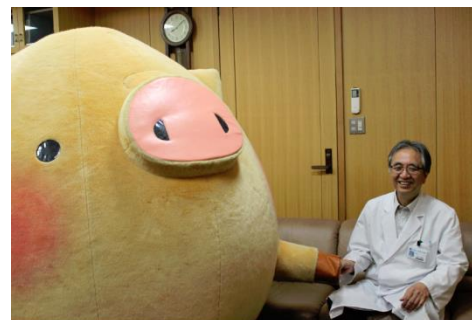


待遇について

- 常勤職員（任期付）
- 勤務時間等
月～金 8：30～17：15 7h45min（1日）
- 休暇
土日祝日、年次有給休暇（初年度15日）
年末年始休暇、病気休暇、夏季休暇、
その他特別休暇あり
- 給 与
1年次 452,400円 2年次 487,200円
- 賞 与
1年次 780,000円（年） 2年次 840,000円（年）
- 手 当
宿日直手当 20,000円（回）
住居手当 ～27,000円（月）
研修補助費 50,000円（年）
その他
職員食堂（1食500円）・院内保育所完備



研修医室、電子カルテあり
（医局とは別に研修医室があります）



院長と握手！

募集定員

平成30年度の募集定員は**7**名です。

病院見学受付中

病院見学は随時受付中です。お気軽にお問い合わせください。
お申込は、希望日の1週間以上前にメールにてご連絡ください。
メールには、①氏名 ②大学 ③学年 ④卒業年度 ⑤連絡先
⑥見学希望期間 ⑦希望診療科を記入し、
題名に「病院見学希望」と書いて申し込んでください。

⇒ 採用試験は7月から8月のうち3日間を予定しています。



申込み・問合せはこちらまで

代表 **027-221-8165**

main@gunma.jcho.go.jp

病院代表メールQRコード

ホームページ:gunma.jcho.go.jp



まずは見学



納涼会（8月）



JCHO学会（9月）
特別講演
iPSの山中先生



図書室（研修医室となり）



院内研究発表会（2月）



消化器内科研修



売店（本館1F）



バレーボール大会（6月）